

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

事業名 発達障がい家族等支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 発達障害支援係 電話番号：058-272-1111(内3487)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,790 千円 (前年度予算額： 1,790 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,790	895	0	0	0	0	0	0	895
要求額	1,790	895	0	0	0	0	0	0	895
決定額	1,790	895	0	0	0	0	0	0	895

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

発達障害者支援法第13条において、「都道府県は、家族その他の関係者に対し、情報提供、家族が互いに支え合うための活動の支援等を適切に行うよう努めなければならない」とされている。事業実施にあたっては、発達障がい支援の専門機関である発達障害者支援センターにおいて実施しており、今後も継続していく必要がある。

(2) 事業内容

①ペアレント・メンター養成等事業

発達障がい児者を育てた経験のある親をペアレント・メンターとして養成するための研修を行う。

②ペアレント・トレーニング指導者養成事業

子どもに関わる際の方法を学ぶことのできるペアレント・トレーニングを地域で実施できるように、地域の療育機関に指導者養成研修を実施する。

③ピアサポート推進事業(家族の交流会)

発達障がい児の家族が子育ての悩みや情報について交流できる会を開催し、ピアサポート支援を行う。

④青年期支援事業(青年期の小集団活動)

青年期の発達障がい者の課題に対し、居場所づくりと同時に、参加者の自己理解や自立の支援を行う場として小集団活動を実施する。

⑤その他の家族支援事業(ベーシック研修)

専門家の講義を動画配信により行い、発達障がい児者の家族に対し、社会資源を始めとする発達障がい支援にかかる情報提供を行う。

⑥発達障がい者オンライン・ピアサポート支援事業

成人期における発達障がい者支援の充実及び強化に加え、オンラインによる当事者同士の交流および居場所の提供を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2 (地域生活支援促進事業)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	458	講師謝金
旅費	307	費用弁償、業務旅費
需用費	327	消耗品259、会議費8、印刷製本費60
委託料	392	圏域発達障がい支援センターZoomライセンス(1年)×4圏域
役務費	251	通信運搬費171、保険料80
使用料	55	会場借上費
合計	1,790	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県障がい者総合支援プラン

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・ペアレント・メンターを養成し、地域での活動を促す。
- ・ペアレント・トレーニングを身近な地域で実施できるよう支援者を養成する。
- ・当事者同士の交流や自己理解を深めることを目的とした小集団活動を行う。
- ・発達障がい児者の家族に対し、オンライン上で知識や情報を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R27年度)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
①ペアレントメンター養成延人数	0	38	45	45	50	76%
②オンライン・ピアサポート参加者延人数	0	435	450	450	200	218%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	コロナ禍の影響により、感染対策を講じ、可能な限りで実施。 ペアレント・トレーニング指導者養成研修 6回 ペアレント・トレーニングフォローアップ研修 2市1町 ペアレント・メンター養成研修・フォローアップ研修 3回 ペアレント・メンター活動 12回 青年期発達障がい自立支援プログラム検討会の開催(オンライン) 3回
	指標① 目標：40 実績：33 達成率：83% 指標② 目標：180 実績：163 達成率：91%
令和5年度	ペアレント・トレーニング指導者養成研修 6回 ペアレント・トレーニングフォローアップ研修 3市2町 10回 ペアレント・メンター養成研修・フォローアップ研修 3回 ペアレント・メンター活動 22回 当事者の小集団活動（主に青年期）の開催(ハイブリッド) 7回 家族交流会の開催（対面）13回 家族や当事者が受講できる動画配信型の研修を実施（6講座）
	指標① 目標：50 実績：36 達成率：72% 指標② 目標：200 実績：303 達成率：152%

令和6年度	ペアレント・トレーニング指導者養成研修 6回 ペアレント・トレーニングフォローアップ研修 4市2町 8回 ペアレント・メンター養成研修・フォローアップ研修 3回 ペアレント・メンター活動 16回 当事者の小集団活動（主に青年期）の開催（ハイブリッド） 9回 家族交流会の開催（対面） 13回 家族や当事者が受講できる動画配信型の研修を実施（9講座）
	指標① 目標：50 実績：38 達成率：76%
	指標② 目標：200 実績：435 達成率：218%

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
（評価） 3	各地域において、ペアレント・トレーニングの実践及びペアレント・メンターの利用が行われている。また、支援が途切れやすい成人期支援の強化のため、発達障害者支援センターが地域の支援者を指導する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
（評価） 2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加した市町村においては地域の支援者がペアレント・トレーニング活動を実践できている。 ・ペアレント・メンターを養成し、家族支援を実施できている。 ・家族交流会、当事者小集団活動によりピアサポート支援を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
（評価） 2	オンライン形式を積極的に活用することで、広く研修受講者やピアサポート参加者を集めることができている。

（今後の課題）

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・ペアレント・メンターの新規開拓が進まず、メンター数に地域差があるため、関係機関や関係団体への周知及び呼びかけ、登録を促す必要がある。 ・誰もが参加できるピアサポート活動となるよう運用を検討する必要がある。 ・障がい児者の家族等のニーズに応じた学びの場を提供する必要がある。
--

（次年度の方向性）

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>当事者や支援者のニーズを踏まえ、引き続き事業を継続する。ペアレント・トレーニングの普及に向け、市町村へ受講の呼びかけを行う。メンターのフォローアップ研修を充実させ、市町村と連携してメンターの活動の場を広げる。当事者支援においてはオンライン形式を活用して対象者を拡大する。</p>

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	